

生活支援コーディネーター：：水口郁敏・村山泰子・中家祥二
中尾忠央・千本邦子

住み心地のよい地域を目指して

「たすけ合う隅田」全体会議開催

「たすけ合う隅田」(隅田地区第2層協議体)は平成30年2月に発足。各地区の区長をはじめ、有志の方々がメンバーとなり、高齢者を主体とした助け合い・支え合いの地域づくりについて協議を行ってきました。令和3年11月・令和4年1月に全体会議を開催し、各地区の取り組みについて報告しました。

各地区の取り組みを共有

「たすけ合う隅田」では、協議体の取り組みや各地区の活動状況等を発信していくため、広報部を立ち上げました。一緒に「たすけ合う隅田だより」を編集していただける方を随時募集しています。

本号では、今後の取り組みを推進していくため、3地区の活動状況をご紹介します。他の地区については、次号にて掲載する予定になっています。



令和3年11月 全体会議 (隅田地区公民館)

各地区の取り組みをご紹介します

生活状況に関するアンケート
で地域の実態を把握

〜霜草地区〜

霜草地区の住民を対象に「生活状況に関するアンケート」を実施しました。日常生活でどのようなことに困っているか、どのような助け合い活動なら参加できるかなどの助け合いのニーズ調査のほか、災害時に必要な情報を入手したり一人で避難できない方の把握を行いました。アンケート結果をもとに、協力を集めて、実施について検討を重ねていく予定です。

○主な困りごと

1. 草刈り、草引き10人
2. 災害時の避難6人
3. 病院の送迎、話し相手5人

○困りごとを助けてあげると回答した方 7名





なでしこの会の様子（中下区集会所）

地域の交流の場「なでしこの会」

～中下地区～

中下地区では、地域の交流の場として「なでしこの会」を毎月第3日曜日に開催しています。対象者は中下地区在住の高齢者。おしゃべりをしたり、体操をしたり親睦交流を図っています。

また、今年3月に区民広場（通称：ちびっこ広場）が移転。今後は、なでしこの会でも活用するなど、高齢者と子供が交流できるような場にしていく予定です。

地域のたすけ合い活動の核は

区・老人会・女性グループ

～上兵庫地区～

上兵庫はここ二十年近くで新旧住民の世帯が逆転し、区民の約六割が集合住宅に住んでいます。特に、市内企業の社宅として入居されている方が多く、新旧住民の交流がほとんどない現状です。また、高齢化も一段と進み、一人住まいの世帯も二割近くに上っています。

コロナ感染拡大前は、ハイキングやバス旅行、ふれあいサロン、すみだこども園との交流会、金毘羅神社のお餅まき、区民全員参加の一斉清掃など、各種催しを通じて交流が盛んでした。現在は、区民総会も含め、大多数の催しが小休止の状態です。

今年1月に、第三層協議体の取り組みの見直し検討会議を開き、役員の変更も行い、新年度からは、今できる範囲の活動を、まず一歩ずつ行うことを決め、区民の皆さんにお知らせしたところです。



トピック 買い物支援を考える

■品物を見ながら買い物できる！販売所が地域の交流の場に！

事業名：移動スーパー「まごの手」

事業主体：日の丸観光株式会社（かつらぎ町笠田）

内容：軽トラックで、生鮮食品・お惣菜・パン・日用品等を販売。

エリア：現在は、恋野地区と学文路地区を巡回しています。※巡回の希望がある場合は調整が必要になります。隅田地区第2層協議体が対応します。

